舞鶴小学校
学 校 通 信
文責
校長 小林史治

羽ばたく子

2022.11.15 №8

※学校だよりのタイトル『羽ばたく』は，甲府市出身の宮沢和史さんに作詞作曲していただいた，舞鶴小学校の校歌の歌詞の一節です。「ふるさとを愛し、羽ばたく子に」なって欲しいとの願いをこめてタイトルとしました。

さまざまな「秋」の中で…

「天高く馬肥ゆる秋」となり、子ども達は校外学習や読書など爽やかな気候の中で、「スポーツの秋、読書の秋、勉強の秋…」と充実した学校生活を送っています。朝と昼の寒暖差が激しく、体調を崩しがちになりますので、ご家庭での健康管理をお願い致します。

さて、本校は甲府市より「甲府の子どもの教育総合推進校」という研究指定を受けて１１月１７日（木）には、市内の先生方を招いて「公開研究会」を開催する予定でいます。「授業改善」「学力向上」「思い遣る心の醸成」などについて、ご意見を伺う予定です。子ども達が「明日も来たい」と思えるよう先生方と取り組んでおりますが、ご家庭でも「自学ノート」など家庭学習への取り組みをお願いします。

「思い遣る心」

本校の玄関には、児童会本部が作成した「思いやりの鶴」の掲示があります。友達の「思い遣る心」の姿を見たときに、その友達の表れを鶴のカードとして残します。「思い遣る心」は無理強いしたり競わせたりするものでもなく、子ども達から自然と発露するものだと思います。今年度は、児童会本部の皆さんが、そんな友達の「思い遣る心」の素晴らしさを伝えたいと考え、昼の放送で紹介していました。大人による「育成」も必要ですが、子ども達から出たアイデアは、まさに互いに醸し出し、相手をリスペクトする「醸成」に繋がる取り組みだと思いました。

陸上記録測定会

コロナウイルス感染症への対応が適切に行われる中、今年度も緑が丘陸上競技場で「陸上記録測定会」が実施されました。市内の全小学校が集まると密を避けられないため、参加校を２グループに分けて午前と午後の実施となりました。子ども達にも話しましたが、人生の中で「競技場」を使って走ったり跳んだり投げたりする経験は、なかなか味わうことができません。また、市内の６年生が同じ場所に揃い、更には来年度一緒に通う西中学校の友達が隣に座り、素晴らしい環境の中､出場した友達を応援した経験も子ども達の心に残ってくれると良いなと思いました。

業前体育

本校の業前活動では、伝統的に「リズムなわとび」を実施しています。子ども達の健全な育成には、「学力」「思い遣る心」そして「体力」が必要です。子ども達も久しぶりに取り組みましたので、忘れてしまった動きもありましたが、曲に合わせてなわを上手にまわしていました。「習うより慣れろ」との諺ではありませんが、「体が覚えたことは、簡単に忘れないものだ」と子ども達の動きを見て感心しました。これから寒い時期を迎えますが、「なわとび」は一人でも手軽にできる運動です。休みの日には、ご家族で取り組んでみてはいかがでしょうか。

読み聞かせ

コロナ禍は続いていますが、「教育のあゆみを止めない。与えられた条件の中、最善を尽くす。」という方向性のもと、保護者による朝の読み聞かせを再開しました。読み聞かせは本の内容も大切ですが、誰に読んでもらうのか、も大切です。子ども達は読み聞かせを通して「物語の世界」に誘われていました。

授業研究－より良い授業を求めて－

「公開研究会」では、３・６年生の授業を公開する予定ですが、本校では、より良い授業を求めるために、残りの学年が各学級で授業実践を行い、得られた成果と課題を３・６年生の授業や日々の授業に生かす取り組みを行っています。

■１年生

１年生は、説明文の単元で、既に調べておいた「自分が紹介したい自動車」を書く学習でした。子ども達は、文章にする前に、先生が示した例文の中で、適切でない箇所を取り上げ、理由を説明することで、「つくりとはたらき」の必要性について確認し、予め作成しておいたメモをもとに伝えたいことを明確にして説明文づくりに取り組んでいました。

■２年生

２年生は、これまでに学習してきた獣医の仕事を振り返り、「もし、〇〇なら」と想定し、その仕事をした訳を考えていました。子ども達は文章に書かれていない部分まで想像を広げて、各自でワークシートに「〇〇となる」と自分の考えを明確にしながら、「しごととわけ」を関連付けていました。

■４年生

４年生は、「ともなって変わる２つの数量の関係」についての学習で、これまでのかけ算の見方や考え方をもとにして２０コの正方形を段の形に並べたときの外周の長さは何cmになるか、自力解決に取り組んだ後、友達と話し合い自分の考えを表現していました。そして、２つの数量の関係を明らかにすると、数えなくても計算で求められることを発見していました。

■５年生

５年生は、「ともなって変わる２つの数量の関係」についての学習で、これまでのかけ算の見方や考え方をもとにして３０コの正方形をつくるために必要な棒の数について自力解決に取り組んだ後、友達と話し合い自分の考えを表現していました。そして、２つの数量の関係を明らかにすると式として表し、数えなくても計算で求められることを発見していました。

ＵＴＹ子ども未来プロジェクト

テレビ山梨のＳＤＧｓ推進企画の一つとして子ども達の夢を応援するプロジェクトがあります。将来の夢を書いた紙を持つ子ども達を写真にしてＣＭとして放送する依頼がありました。６年生は昨年度、市の事業「甲府ドリームキャンパス」に参加して、宮澤さんに「夢を持つことの大切さ」を教えていただきました。この日は、「保育士なりたい、カメラマンになりたい。」など、様々な夢を描いた子ども達の撮影がありました。あと５ヶ月ですが、「羽ばたく日」まで、精一杯子ども達を支えていきたいと思いました。

コラム：自然の不思議

８日に「皆既月食」中に「惑星食」となりましたが、皆既月食は、太陽と地球と月が一直線に並んだときに観ることが出来ます。今回は、もう一つ「天王星」という地球と同じく太陽の周りを廻る「惑星」が一直線にならんだ現象が４４２年ぶりに起きたことにより話題となりました。コンピュータにより軌道計算ができるため、４４２年ぶりと予測できるにしても、地球の影に入って赤銅色になった月が、「惑星」である「天王星」に重なる姿は、自然の不思議さを教えてくれた気がしました。

HP には、子ども達の学校での様子も載せてありますので、こちらもご覧下さい